

# 小児に対する一次救命処置 (BLS)

# 一次救命処置(BLS)の手順

- ① C: 胸骨圧迫
- ② A: 気道確保
- ③ B: 人工呼吸

# ① C:胸骨圧迫

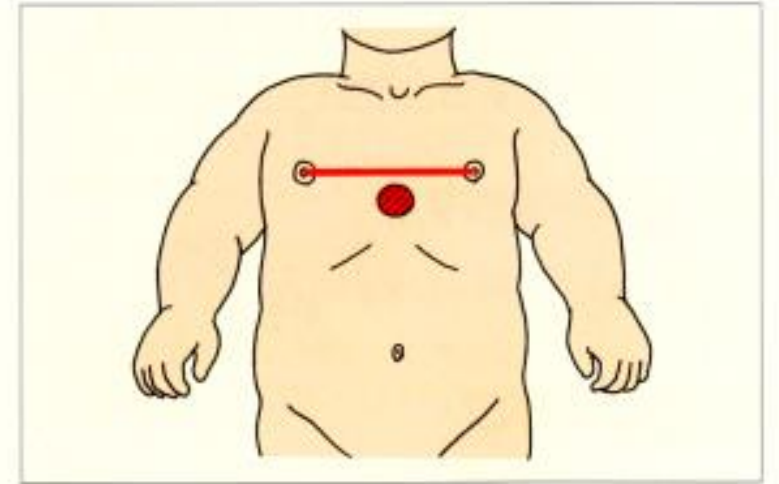
・胸骨圧迫の位置:図を参照

・胸骨圧迫の深さ:胸郭の少なくとも1/3(約5cm)

※小児に対しては両手・片手どちらで行っても構わないが、毎回必ず胸郭の1/3の深さで圧迫する

※圧迫を行うたびに胸壁を完全に戻すようにする

・胸骨圧迫のテンポ:100~120回/分(少なくとも100回/分)



乳児の胸骨圧迫部位

## ② A: 気道確保

・喉を伸ばしてあげることにより、息の通り道を作ってあげること。



### ③ B:人工呼吸

- 口対口鼻人工呼吸法



乳児への人工呼吸

# 救助者が1人の場合

## ①反応及び呼吸の確認

- ・声掛けに対しての反応の有無
- ・呼吸の有無、死戦期呼吸になっていないか

## ②脈拍の確認

- ・頸動脈か大腿動脈に触れ5秒以上10秒以内に脈拍をチェック

## ③胸骨圧迫と人工呼吸

- ・10秒以内に明確な脈拍を確認できない場合、胸骨圧迫を開始する
- ・胸骨圧迫と人工呼吸は30:2の割合で行う

※人工呼吸が行うのが難しい場合は、胸骨圧迫のみでも可能

※開始2分後救助者が一人の場合は救急対応システム(119番)・スタッフへ連絡

# 救助者が2人以上の場合

①反応及び呼吸の確認

②脈拍の確認

③胸骨圧迫と人工呼吸・救急システムへの連絡及び物品準備

・1人は直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を開始する(30:2の割合)

※2人で行える場合は15:2の割合で行う

・その他の人は救急システム(119番)と家族へ連絡・AEDの準備・アンビューによる人工呼吸が出来るよう準備

※胸骨圧迫はとても体力がいるため、救助者が二人以上いる場合は交代で行う

# ポイントまとめ

☆心停止を確認してから10秒以内に胸骨圧迫を開始する

☆強く、早く押す：小児の場合約5cm、乳児は約4cm

100～120回/分のテンポ

☆圧迫を行うたびに胸壁を完全に戻す

☆胸骨圧迫の中断を最小限に抑える（中断は10秒未満）

☆胸の上りを伴う効果的な人工呼吸

☆過換気を避ける



# AEDの使用方法

AEDとは、心臓の状態を確認して必要な時に電気ショックを行う機械

手順

- ①電源を入れ、電極パッドを貼る
- ②AEDの音声メッセージに従う



③心電図の解析

**ショックが必要**

- 1) 周囲の確認
- 2) 電気ショック
- 3) 胸骨圧迫と人工呼吸器の繰り返し

2分ごとに繰り返し

**ショックは不要なし**

胸骨圧迫と人工呼吸の繰り返し

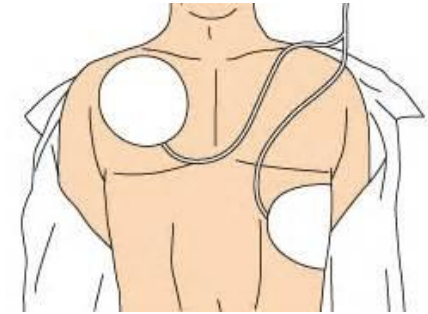


# AEDの電極パッド貼付ポイント

## ☆電極パッド貼付位置

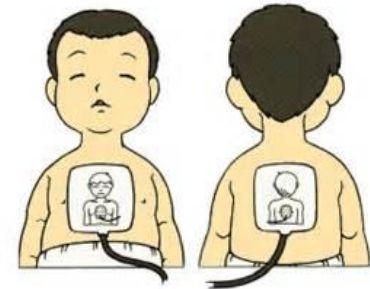
- ・パッドは右前胸部と左側胸部に貼る

※身体の小さい小児の場合はパッド同士が触れる危険性があるため、心臓を挟むように胸部と背部に貼る



## ☆パッドを貼る時の注意点

- ・貼る部分が濡れている場合はタオルなどで拭きとってから貼付
- ・ペースメーカーなどが埋め込まれている場合は、その部分を避ける



# 救急システム(119番)への連絡方法

## ①119番へ電話

→「火事ですか、救急ですか」と聞かれるので救急ですと伝える

## ②施設名・住所・子どもの名前・年齢・子どもの状況

※子供のかかりつけの病院も伝える

※呼吸器や酸素を使用している子はそのことも伝える